



(株)エイト日本技術開発



20

「多様なフィールドに適応可能な オールラウンド型ボート型ドローン」

従来のボート型ドローンは深浅測量用、洗掘調査用、狭隘水路点検用、構造物点検用など用途に応じて機体の使い分けが必要でした。また、天候や現場状況に応じて適切な機体を選定する必要もあり、運用の効率性や柔軟性に課題がありました。オールラウンド型ボート型ドローンは現場にてアタッチメントを組み替えることで現場状況に応じて機体をカスタマイズできます。波風の影響を受ける港湾施設や流速のある河川施設など様々なフィールドにおいて測量、調査、点検を実施することができます。



【オールラウンド型ボート型ドローン】

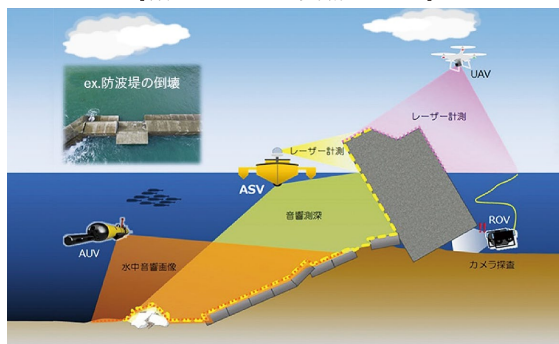
担当部署 関西支社 事業推進部 担当者 宗政 貴典

Tel 06-6397-0753 Fax 06-6398-2404

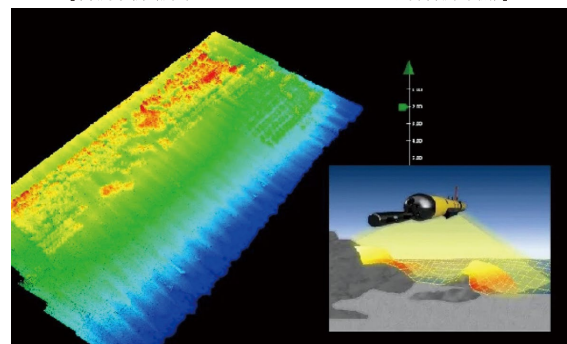
「各種ロボットを組み合わせたインフラメンテナンスDXを実現」

インフラメンテナンスの現場における担い手不足と働き方改革推進のため、人に代わって点検調査を実施するロボット等の導入が進んでおります。EJECの強みはインフラ施設点検調査業務の豊富な実績と、新技術の導入に関して圧倒的なノウハウを有することです。UAV（無人航空機）、ROV（遠隔操作型無人潜水機）、ASV（自律航行無人船）、AUV（自律航行無人潜水機）など様々な機体を現場やニーズに合わせて選定することで高精度なデータ取得をご提案します。

【各種ロボットによる水中調査イメージ】



【計測事例（測深データ：インターフェロメトリ音響測深機）】



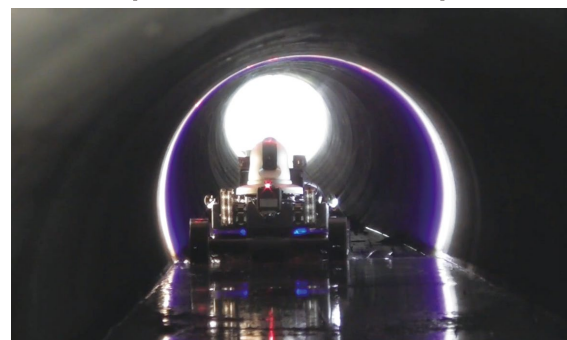
「完全防水クローラ型ロボットの実演」

人の侵入が困難な施設の点検調査を実現するクローラ型ロボットを展示します。水の無い水路や暗渠、狭隘な箱桁内部、下水道管内などの点検調査を人に替わって実施することができます。また、活火山調査における有毒ガスの検知や災害時における被災施設の啓開調査などインフラメンテナンス分野を超えた活躍も期待できるロボットです。

【瓦礫の上を走行するクローラ型ロボット】



【管渠内部を点検するクローラ型ロボット】



この他にも「インフラDXの実践」をコンセプトとしたDX技術を揃えております。
詳細は、QRコードよりご確認ください



<https://www.ejec.ej-hds.co.jp/>